

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（令和 6 年度第 2 回）
議事要旨

1. 日時：令和 7 年 2 月 27 日（木） 13：30～15：30
2. 場所：独立行政法人国際交流基金 ホールさくら
3. 出席者
 - (1) 委員：渡邊一弘委員長、宮本和之委員、山本裕子委員、井澤めぐみ委員
 - (2) 国際交流基金（JF）：古屋理事、平林監査室長、正野経理部長、河井会計課長、審議案件担当者
4. 議事概要
 - (1) 再委託案件及び一者応札・応募案件について（報告）
再委託案件 8 件、一者応札・応募案件 5 件のうち審議案件 4 件を除く 1 件について、資料に基づき事務局より報告。
 - (2) 連続一者応札・応募案件 2 件のフォローアップ（報告）
以下の 2 契約が該当。

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	担当部署
1	令和 6 年度日本語パートナーズ派遣事業感謝状贈呈式に係る業務委託契約	株式会社イー・シー	一般競争 総合評価	2,937,995 円	日本語パートナーズ事業部 事業第 2 チーム
2	第 53 回日本語パートナーズ派遣前研修現地語研修に係る業務委託契約	株式会社バークレーハウス	一般競争 総合評価	8,547,000 円	関西国際センター教育事業チーム

※2 の第 53 回日本語パートナーズ派遣前研修 現地語研修に係る業務委託契約に関しては審議案件としても選出されているため (3) 個別案件の審議内で報告・点検を行った。

- ア. 報告のポイント：各案件とも仕様の見直し、スケジュールの見直し等の対策を行った。応札しなかった業者へのヒアリングでは、人員確保が困難であることやスケジュール的に厳しいという意見、採算が見込めないといった懸念が寄せられた。次回入札に向けては可能な範囲で仕様や公示期間の見直しを検討しつつ、引き続き周知に努め、新規参入の拡大に取り組んでいく。
- イ. 委員からの主な発言：取組は妥当であると判断する。令和 6 年度日本語パー

トナース派遣事業感謝状贈呈式に係る業務委託契約に関しては、効率的な調達方法を検討する余地もありそうだ。

(3) 個別案件 6 件の審議

以下の 6 契約について審議

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	担当部署
ア	第 53 回日本語パートナーズ派遣前研修 現地語研修に係る業務委託契約	株式会社バークレーハウス	一般競争 総合評価	8,547,000 円	関西国際センター教育事業 チーム
イ	1 階パブリックスペースのネットワーク 運用・保守業務契約	日本アクセス株式会社	一般競争 総合評価	6,438,960 円	広報部
ウ	障がい者有料紹介等 業務契約	株式会社 D&I	企画競争	5,431,389 円	総務部 人事課
エ	国際航空券手配及び 付帯業務委託契約 (IACE トラベル)	株式会社 IACE トラベル	企画競争	104,500,000 円	経理部 会計課
オ	日本語国際センター ヘルプデスク運營業 務委託契約	日本アクセス株式会社	一般競争	33,660,000 円	日本語国際センター教師研 修チーム
カ	日本語国際センター 空調機整備工事契約	パナソニック環境エンジニア リング株式会社	入札不調	104,500,000 円	日本語国際センター教師研 修チーム

ア. 第 53 回日本語パートナーズ派遣前研修 現地語研修に係る業務委託契約 (連統一者応札・応募案件)

- (ア) 契約内容：日本語パートナーズの派遣前研修の一部として、現地生活のための現地語研修を業務委託。第 53 回は、関西国際センターで実施されたフィリピン、ベトナム、ラオス、台湾への派遣に向けた複数言語の研修。
- (イ) 抽出理由：過去審議案件「第 29 回日本語パートナーズ派遣前研修 現地語研修に係る業務委託契約」から契約金額が増額している理由、一者応札の要因、一者応札解消のためにどのような対応を図るのか
- (ウ) 説明のポイント：第 29 回研修は日本語国際センターで実施されたタイ語の研修のため条件が異なる。代わりに、研修の条件に近い第 25 回研修と比較した結果、契約金額は特に増額しておらず妥当だと分析できた。一者応札が続いており、これまでも様々な対策を取って来たが、地理的条件や人員確保が困難であることが入札不参加の理由として挙がっていた。しかし、続く第 54 回研修では希少言語であるカンボジア語を随意契約、比

較的応札者が集まりやすいマレーシア語を一般競争にして、言語ごとに調達方法を変えたところ、複数業者から提案を受けることができた。第 55 回研修（インドネシア語）でも複数業者から提案があり、言語によっては新規参入が可能であることがわかった。今後も調達方法や広報を工夫し、また要望のあった前払いの導入も検討したい。

- (エ) 委員からの主な発言：取組は妥当であると判断する。言語によって状況が異なることがよくわかった。これまでも本研修に関して契約監視委員会でたびたび議論してきたが、随意契約する言語と、入札する言語をわけて新規参入に成功したという良い取組を聞けてよかった。

イ. 1 階パブリックスペースのネットワーク運用・保守業務契約

- (ア) 契約内容：JF 本部オフィスのパブリックスペース（ライブラリー・ホールさくら・ロビーけやき）におけるネットワークの運用保守業務契約。
- (イ) 抽出理由：一者応札の要因、一者応札解消のためにどのような対応を図るのか
- (ウ) 説明のポイント：一者応札となった理由としては、1 年に 1 度ある法定停電の際に、業者の方が JF 本部に訪問し、作業を行う必要があるため、フルリモートでは業務が行えないという点で人員の確保が難しかったようだ。また、説明会が実施されなかったため、契約内容が十分に理解できなかったという声もあがった。次回に向けては、業務をフルリモートで実施できないか仕様を見直し、説明会を開催してきちんと情報提供できるよう努めたい。
- (エ) 委員からの主な発言：説明会を含め適切な情報の周知に努めてもらいたい。

ウ. 障がい者有料紹介等業務契約

- (ア) 契約内容：契約内容には、JF からの照会に応じ、適切な採用候補者の紹介の他、採用市場等に関する情報の提供が含まれる。紹介された人材を JF が採用した場合のみ契約相手方への支払が発生し、雇用しない場合は、契約金は支払われない完全成功報酬制である。
- (イ) 抽出理由：企画競争の方法
- (ウ) 説明のポイント：JF の業務に適した人材の雇用を速やかかつ円滑に進めるため、障がい者を専門とする有料職業紹介業務委託先選定の企画競争を行った。障がい者を含む人材市場は非常に流動的であるため、適切なタイミングで豊富な人材を紹介してもらうためにも、企画競争で複数の業者を選定するほうが好ましい。業者の選定は、提案書に基づいて、

必要な資格を持っているかどうか、業務実績、業務実施体制、業務実施方針などを評価し、その合計点で決定している。

- (エ) 委員からの主な発言：完全成功報酬制で他に固定費等が発生しないのであれば、より多くの業者と契約を結んでも良いのではないかと考えたが、企画競争に積極的に参加してくれる業者が限られていることも理解した。

エ. 国際航空券手配及び付帯業務委託契約（IACE トラベル）

- (ア) 契約内容：JF 関係者の海外赴任、派遣、海外出張、海外からの招へい等に係る国際航空券の予約、発券及び査証手配等付帯業務委託契約。
- (イ) 抽出理由：企画競争の方法、本企画競争にあたっての予定価格の取扱い
- (ウ) 説明のポイント：年間を通じて、各部署で不規則的に業務が発生するため、ひとつの契約相手方に業務が集中して対応が困難になることを防ぐためにも、企画競争を実施し、複数者と契約を結んでいる。企画競争の方法としては、応募者から提出される提案書に基づき、総合的な評価を行っている。具体的な評価項目には、業務実績、柔軟な業務体制、個人情報取り扱い体制が十分かどうか、業務実施方針、取扱手数料の価格等がある。また、JF が提示するモデルプランに対して、旅程・見積も提案させている。予定価格に関しては、発券手数料や査証取得代行手数料等、項目ごとに設定している。
- (エ) 委員からの主な発言：企画競争を実施することで、モデルプランの提出等を通じて具体的案件での実践力が試されるため、より踏み込んで契約相手方を決定していることが理解できた。

オ. 日本語国際センターヘルプデスク運営業務委託契約

- (ア) 契約内容：日本語国際センターのネットワークや機器の運用支援、ネットワークの監視、情報資産管理、さらにヘルプデスク業務を委託。業務従事者1名以上がセンターに常駐することが求められている。
- (イ) 抽出理由：一者応札の要因、一者応札解消のためにどのような対応を図るのか
- (ウ) 説明のポイント：業務内容が多岐にわたっていることや業務従事者1名を常駐させる条件がネックとなり、また十分な実績を持つ業者が限られていたことが一者応札の原因として考えられる。次回入札に向けては、IT 環境の整備を進め、ヘルプデスク業務を見直し、仕様の緩和の可能性を探っていきたいと考えている。また、業務遂行能力のある業者を調べて幅広く声掛けを行っていききたい。

- (エ) 委員からの主な発言：業務内容が多岐にわたっているということで、業務を分けて発注することも検討してほしい。世間でも人手不足が話題になっており、常駐の人材を求めることが徐々に難しくなっているかもしれないが、今後、常駐できる人材がいなくなった場合にどう対応するか、あらかじめ想定しておく必要があるだろう。

カ. 日本語国際センター空調機整備工事契約

- (ア) 契約内容：日本語国際センターの空調機器設備の老朽化が進み、漏水・腐食・剥離などが発生しているため、更新工事を行った。
- (イ) 抽出理由：入札不調の要因、今後の対応
- (ウ) 説明のポイント：入札には2者応札があったものの、予定価格の範囲内に収まらず入札不調となった。コンサルタントからの助言も受けながら、うち1者と交渉を行い、予定価格の範囲内で随意契約を結ぶに至った。入札価格が予定価格内に収まらなかった理由としては、資材の高騰や輸送費用の増加を反映できていなかったことが挙げられる。
- (エ) 委員からの主な発言：耐用年数に関わらず、実際は機材の状況によるところが大きいこと、また予算上、大規模な入れ替えを計画することは難しい面もあることがわかった。

以上